

2 単元における指導と評価の計画 英語

・「We All Love Rice」(全6時間) (第1学年6月)

1. 本単元の主な学習目標

- (1) 世界の米食文化について、背景知識を利用したり、類推したりして、積極的に話そうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 米食文化について個人レベルから地域、国家レベルにおける違いを聞き手に紹介することができる。(表現の能力)
- (3) 米食文化の違いについて、読み取ることができる。(理解の能力)
- (4) 関係代名詞 that, who, which を用いた後置修飾、動詞 seem, appear、第2文型(SVC)において補語が that 節・because 節になっているものの意味・用法を理解する。また、米食が文化によって様々に違うことを理解し、「同じ人間であるが、それぞれが異なった文化をもつ」という大きなテーマを考察する。(言語や文化についての知識・理解)

2. 本単元の評価規準

【読むこと・話すこと】

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
読むこと の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に積極的・意欲的に取り組んでいる ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話題についての英文を正しく音読したり暗唱したりすることができる。 ・話題についての英語で書かれた内容を、適切に音読したり暗唱したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話題についての英語を読んで、書かれてある内容を正確に理解することができる。 ・話題についての英語を、場面や目的に応じて適切に読みとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身につけている。 ・取り扱われた文化についての基本的な理解がなされている。
話すこと の評価規準		<ul style="list-style-type: none"> ・話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく話すことができる。 ・話題について、得た情報や自分の考えを英語で適切に話すことができる。 		
本単	(言語活動への取組) ・ジェスチャーや具体	(正確な音読) ・強勢、イントネーシ	(正確な読みとり) ・書かれた内容につい	(言語についての知識) ・関係代名詞による後置

<p>元 に お け る 読 む こ と ・ 話 す こ と の 評 価 規 準 の 具 体 例</p>	<p>物を用いたり、別の表現で言い換えたりして、相手の理解を促す工夫をしながら話そうとしている。</p> <p>(コミュニケーションの継続) ・必要に応じて聞き返したり、説明を求めたりしながら、類推力を働かせて話そうとしている。</p>	<p>ヨン、区切りなどに留意して、内容が正しく伝わるように話すことができる。</p> <p>(適切な音読)</p> <p>(正確な発話)</p> <p>(適切な発話) ・ Read & Look Up、アイコンタクトを行いながら話すことができる。</p>	<p>て正しく理解することができる。</p> <p>(適切な読みとり) ・書かれた内容について要約することができる。</p>	<p>修飾、動詞 seem, appear、that 節 / because 節を補語として含む英文の構造上の特徴を理解している。</p> <p>(文化についての理解) ・それぞれの国固有の米食文化について理解している。</p>
<p>本 単 元 に お け る 具 体 の 評 価 規 準</p>	<p>(言語活動への取組) 自分の家庭の米食文化や、単元で学んだ他国の米食文化について、具体物を示したり、ジェスチャー等を使ったりして相手に伝えようとしている。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 既習の表現やジェスチャー等を手がかりにして話そうとしている。</p>	<p>(正確な音読) 強勢、イントネーション、区切りなどに留意しながら、正しく読んだり、話したりすることができる。</p> <p>(適切な音読)</p> <p>(正確な発話)</p> <p>(適切な発話) 聞き手とのアイコンタクトを取ったり、質問を交えるなどして、相手の理解を確認しながら話すことができる。</p>	<p>(正確な読みとり) 自分の家庭の米食文化や、単元で学んだ他国の米食文化について、文構造や内容語に着目して、読み取ることができる。</p> <p>(適切な読みとり) 自分の家庭の米食文化や、単元で学んだ他国の米食文化について書かれた内容の要約を完成することができる。</p>	<p>(言語についての知識) 関係代名詞、動詞 seem, appear、補語節の働き、形態や意味が分かる。</p> <p>(文化についての理解) 他国の米食文化について、理解している。</p> <p>米食文化に関して、それぞれの国の相違点と類似点を理解し、整理している。</p>

3. 指導と評価の計画（全6時間）

時間	学習目標	学習活動	本単元の評価規準との関連				評価方法 (指導・援助)
			関心 意欲 態度	表現 の 能力	理解 の 能力	知識 理解	
1	<p>米食文化について、基本的な事項を理解する。</p> <p>単元の課題を理解する。</p> <p>本時の課題を理解する。</p> <p>関係代名詞を含んだ英文の意味・形態・機能について理解することができる。</p> <p>英語の音声的特徴に慣れる。</p> <p>本文の骨子をまとめることができる。</p>	<p>教師が示す米食に関する話を聞き取り、適切な応答をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の語彙から推測する。 ・既習の文法・構文の知識を用いて理解する。 ・文化による米の食べ方の違い <p>教科書の本文の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙の意味・用法 ・関係代名詞を含む文の理解 ・どの民族が米食であるか ・世界における米食民族の割合 ・本文の内容理解クイズ <p>英語の音声の特徴を大切にしながら音読する。</p> <p>本時の本文の内容を要約する。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・極力言い換え、例示等を行って安易に日本語に頼らない授業の雰囲気をつくる。 ・ワークシート記入状況 ・英語らしいリズムで発音する。
2	<p>聞き手を意識して1分程度の口頭での発表ができる</p> <p>本時の課題を理解する。</p> <p>動詞 seem、補語としての that 節・because 節を含んだ英文の意味・形態・機能について理解することができる。</p> <p>英語の音声的特徴に慣れる。</p> <p>本文の骨子をまとめることができる。</p>	<p>前時の本文の内容について、要約の発表を行う。</p> <p>教科書の本文の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙の意味・用法 ・動詞 seem を含む文の理解 ・補語としての that 節・because 節を含む文の理解 ・文化によって異なる米の捉え方（食べ方） ・本文の内容理解クイズ <p>英語の音声の特徴を大切にしながら音読する。</p> <p>本時の本文の内容を要約する。</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・発表・質問しやすい雰囲気をつくる。 ・極力言い換え、例示等を行って安易に日本語に頼らない授業の雰囲気をつくる。 ・ワークシート記入状況 ・リズム、文強勢に注意する。 ・次回の口頭での発表を意識させる。

3	<p>聞き手を意識して1分程度の口頭での発表ができる</p> <p>本時の課題を理解する。</p> <p>動詞 appear、補語としての that 節・because 節を含んだ英文の意味・形態・機能について理解することができる。</p> <p>単元の課題の確認</p> <p>英語の音声的特徴に慣れる。</p> <p>本文の骨子をまとめることができる。</p>	<p>前時の本文の内容について、要約の発表を行う。</p> <p>教科書の本文の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙の意味・用法 ・動詞 appear を含む文の理解 ・補語としての that 節・because 節を含む文の理解 ・中国と日本の米食文化の対比 ・異なる米食文化を知ることの意義 ・本文の内容理解クイズ <p>英語の音声の特徴を大切にしながら音読する。</p> <p>本時の本文の内容を要約する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・極力言い換え、例示等を行って安易に日本語に頼らない授業の雰囲気をつくる。 ・ワークシート記入状況 ・英語らしいリズムで発音する。
4	<p>聞き手を意識して1分程度の口頭での発表ができる。</p> <p>単元全体を通しての内容確認</p> <p>語彙・文法事項の整理</p>	<p>前時の本文の内容について、要約の発表を行う。</p> <p>単元の内容に関わる演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容確認 ・発展的内容の聞き取り <p>語彙・文法事項の演習</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・ノートの記入状況 ・ノートの記入状況
5	<p>単元で学習した項目を用いて自己表現ができる。</p>	<p>音読テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5人1組で割り当てられた部分の個人読みをする ・「発音の正確さ」「区切りの適切さ」 <p>ストーリーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ホームステイ先で出されたライスブディングについて」 <p>ストーリーの発表</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・予め評価の観点を明示し留意させる ・ワークシート記入状況 ・活動の観察
6	<p>本単元で学習した語彙・表現の定着を図る。</p>	<p>単元テスト</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・Written Test

評価方法における「活動の観察」は単元を越えて、年間を通じて行うものとする。

3 単位時間の授業展開例 英語

1. 本時のねらい：
- ・世界の米食地域について英語で紹介することができる。
 - ・文化によって米の扱い方が異なることについて読み取ることができる。
 - ・動詞 *appear* を含む英文と、補語として *because* 節を含む英文の意味・形態・機能について理解することができる。

2. 本時の位置： 2 / 6 時

3. 展 開 案：

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
前時の復習と導入	<p>米食文化圏に関する前時の内容 (summary) を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Rice is eaten not only by the Japanese but also by many other people in the world. In many Southeast Asian countries, people eat more rice than Japanese people. In Korea and Taiwan, rice is an important staple food. In South America, too, rice is eaten as a staple food. In fact, about 40 percent of people in the world eat rice as a staple food.</p> </div> <p>本時の学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1. What do people in Europe think of rice?</p> </div>	<p>話し手…ア - 、イ -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察を通して具体的な姿を見届ける。 ・指導の一環として以下のような相互評価表を配布し、聞き手の生徒に記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>声の大きさ A - B - C アイコンタクト A - B - C 区切りと文強勢 A - B - C その他の工夫 A - B - C</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表しやすい雰囲気をつくる。 ・質問しやすい雰囲気をつくる。
展 開	<p>新出語句の意味・発音の確認</p> <p>簡単な英語でのやりとり (T - S) を通しての本文の内容の導入～確認～内容理解。</p> <p>本時の課題の質問を含める。</p> <p>日本語による言語的側面の説明。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1. In Europe, people do not <i>appear</i></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に配布したワークシート(本時終了時に回収)の活用状況を確認する。 ウ - 回収した学習プリントの活用状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語らしいリズムで発音する。 ・極力言い換え、例示等を行って安易に日本語に頼らない授業の雰囲気をつくる。 ・言語的側面の解説には正しい日本語を使

	<p><i>to</i> eat a lot of rice. (l.1, p.30) S appears to V・・・ 「SはV・・・するように見える」</p> <p>It appears that S V・・・</p> <p>2. <u>This may be because they think of</u> S V C <u>rice not as the staple food but as a</u> <u>vegetable.</u> (ll.2-3, p.30) this is because ~ 「このことは～だからである」</p> <p>3. In Valencia, the birthplace of paella, there are <i>so</i> many rice fields <i>that</i> you might ask, "Is this really Europe?" (ll.4-6, p.30) 「あまりにも～なので・・・」</p> <p>音読 ・ Model Reading ・ Simultaneous Reading ・ Individual Reading</p>		<p>い、生徒の日本語における表現力を伸長させる。</p> <p>・リズム、文強勢に注意する。 ・評価規準に含まれない口頭による評価を随時行う。</p>
<p>終 末</p>	<p>本時の要約</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>In Europe, people do not eat so much rice, because they think of rice as (). However in (), the birthplace of paella, you will see Also it's not surprising in Korea to put rice in ().</p> </div>		<p>・ 次回の口頭での発表を意識させる。</p>

4. 参考資料

- (1) 評価補助簿例・・・資料
- (2) 学習プリント例： 前時使用・・・資料
本時使用・・・資料

本時の学習課題
語彙・重要表現
内容理解の確認・本文の要約
その他、背景知識